

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポートセンタースクラブ		公表日	令和7年 2月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 ・ 整備 ・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		・訪問先への説明については、現場の方が取り入れやすい内容を意識しています。	・今後も方が取り入れやすい具体的な説明や助言に努めています。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・利用者希望数に応じて、職員配置や日程を分けて実施する等して調整を行っています。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・個別相談や朝礼、昼礼の機会を通して、支援内容の検討や業務改善等について話し合う場を設けています。	・個別相談や朝礼、昼礼の機会を通して、支援内容の検討や業務改善等について話し合う場を設けています。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・保育所等訪問支援を実施する前に必ずお子さまの様子で確認するポイントや訪問先の先生とのやりとりで必要なところを確認しています。 ・保育所等訪問支援を実施する前に、当法人で作成した保育所等訪問支援のマニュアルを参考に打ち合わせを行っています。	
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・保育所等訪問支援計画を作成する際に、学校やこども園の方と個別支援計画の原案をもとに支援内容の検討を行っている。 ・学校やこども園等でのお子さまの実態やニーズを把握した上で、保育所等訪問支援計画を作成しています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・保育所等訪問支援計画を作成し、計画に沿った支援を行い、見直しを行いながら実施している。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・保育所等訪問支援計画を作成し、計画に沿った支援を行い、見直しを行いながら実施しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援開始前には、保護者や関係機関の意向を確認し、訪問時間や支援内容について職員間で打ち合わせを行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後には振り返りを行い、お子さまの実態や関係機関の方の思いを整理している。 ・職員間で保育所等訪問支援の実施内容やお子さまの様子をミーティングで報告しています。必要に応じて、事業所で取り入れた方がよい支援についても話し合いを行っています。	

17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			・訪問先への説明については、訪問先の支援方針や組織体制等も確認しながら、現場の方が取り入れやすい内容を意識しており、今後も具体的な説明や助言に努めていきます。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・実施した内容について記録をとっており、職員間で共有しながら事業所内での支援方法についても見直しを行っています。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者や保育士、児童指導員が子どもたちの様子を事前に情報共有を行った上で、担当者会議や連携会議に参加しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・そお地区自立支援協議会子ども部会へ定期的に参加し、研修を受けたり事業所間の情報交換を行っています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ペアレントプログラムや保護者会等の案内をさせていただいています。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用前の見学や利用契約時に運営規定、施設概要や利用料等についてご説明しています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・実施前に訪問先と連携会議を行い、保育所等訪問支援の趣旨や目的、保護者の意向等について説明を行っています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・個別相談や療育参観の期間を設け、保護者の方の相談に助言を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会やきょうだい児支援会を当法人で開催しておりますが、スクラブ利用の方が参加しやすい開催方法を検討していきます。	・令和7年度からは事業所をご利用している保護者の方を対象に茶話会を実施予定となっております。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
訪問先施設への説明	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の取り扱いについては、契約時に写真名前掲載同意書に署名をいただいています。また年度ごとに同意書を取り、個人情報の取り扱いには注意を払っています。 ・関係機関との情報交換についても契約時に説明させていただき、同意をいただいた上で情報共有しています。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・実施後に訪問先で面談の時間を設けていただき、訪問中の様子も合わせて今後の支援内容について助言を行っています。お子さまの支援方法に加え、環境設定等についても助言を行っています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・保育所等訪問支援を実施後には、必ず保護者の方へお子さまの様子や訪問先への助言内容を共有させていただきます。	

明 等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・関係機関との情報交換については契約時に説明させていただき、同意をいただいた上で情報共有しています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			・訪問先との信頼関係を築けるよう、今後も専門的で具体的な助言を行うよう努めています。
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットが起こった際には、チームで対応策を検討し、記録を確認できるよう連絡用ツールを活用し、職員間で配信を行っています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束廃止委員会を設置しています。身体拘束を行っているケースはありませんが、お子さまの状況に応じて、刺激の少ない環境に活動場所を変更する等して安全に過ごせるよう配慮しています。	